

五中・夢バトン

豊中市立第五中学校
学校だより
平成30年(2018年)
12月18日
発行責任: 校長 石井武

★平成30年度(2018年度)「全国学力・学習状況調査」

本校における結果概要

本年4月に3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」に関して、本校における結果分析や課題等についてお知らせします。



◆五中生の主な課題としては・・・

国語では、情報を整理して内容的確にとらえる力、**数学では、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する力、理科では、観察・実験の結果に基づいて自分の考えや他者の考えを検討し改善する力**などに課題があり、**自己肯定感や規範意識の向上、家庭学習習慣や繰り返し学習する取り組みの充実**をめざす必要があります。

◆学校として、今後に向けて・・・

●**授業や学校行事、学級活動など学校全体の取り組みを通して、生徒の自尊感情を豊かに育み、お互いを高め合い支え合える集団づくりや規範意識の向上**をめざした取り組みの充実に努めます。

●**学力向上に向けては、思考力・表現力を高めていくためにコミュニケーション活動を一層充実させ、生徒が主体的に参加し、深く考えながら課題を解決する力を養う授業づくり**をさらに進めていきます。

学校と家庭・地域が子どもたちの学力や学習状況に関する課題を共有し、さらに連携した取り組みを進めていく必要があると考えております。今後も一層のご理解・ご協力ならびにご支援をよろしくお願いいたします。

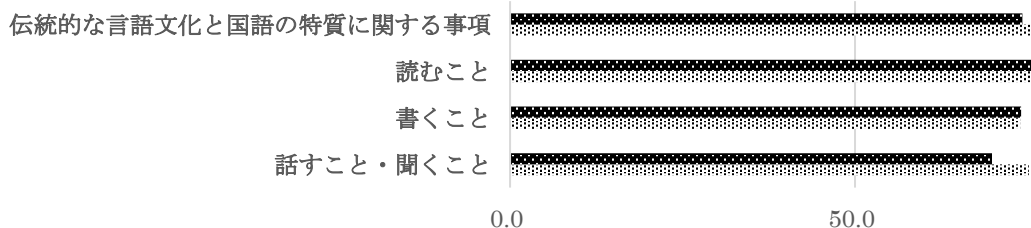
【1】教科に関わる結果の概要



<国語>

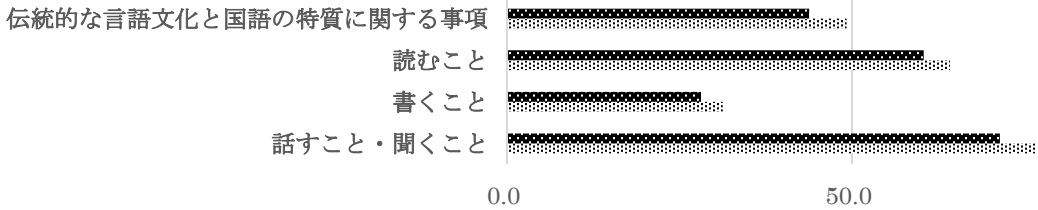
国語 A

■ 本校平均正答率 ■ 全国平均正答率



国語 B

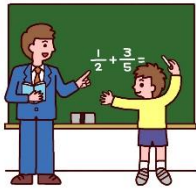
■ 本校平均正答率 ▨ 全国平均正答率



○全国平均正答率と比較した場合、国語A（主として知識）に比べ、国語B（主として活用）に関する力を向上させていくためにいっそうの努力を要することが伺えます。

○国語Aの領域別平均正答率のうち「書くこと」と「読むこと」の項目は、全国平均正答率に比べ比較的良好ですが、「話すこと・聞くこと」や「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の項目に課題があります。国語Bにおいては「発表をまとめる際の話の進め方」や「話のあらすじを説明する」など、情報を整理して内容を的確にとらえる力をつけていく必要があります。

<数学>



数学 A



■ 本校平均正答率 ▨ 全国平均正答率



数学 B

■ 本校平均正答率 ▨ 全国平均正答率



○数学Aの領域別平均正答率のうち「図形」の項目は、全国平均正答率よりも高く、「数と式」と「関数」は比較的良好ですが、「最頻値の意味や中央値の求め方」など「資料の活用」の項目に課題がみられます。

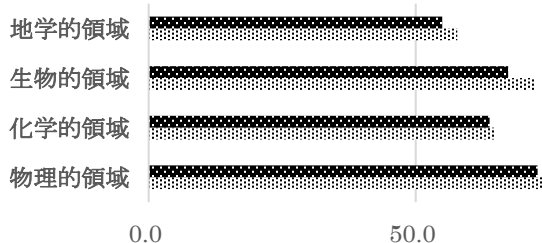
○数学Bに関しては、「割合を求める」や「ある事象が起こった理由を、確率を用いて説明する」など事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的表現を用いて説明することに課題があります。



<理科>

理科

■ 本校平均正答率 ※ 全国平均正答率



○理科の領域別平均正答率のうち「化学的領域」と「物理的領域」の項目は比較的良好です。

○「生物的領域」と「地学的領域」では、「神経系の働きについての知識」や「台風の進路についての理解」など、観察・実験の結果に基づいて、自分の考えや他者の考えを検討して改善することに課題があります。

【2】生徒質問紙調査から見られる特色

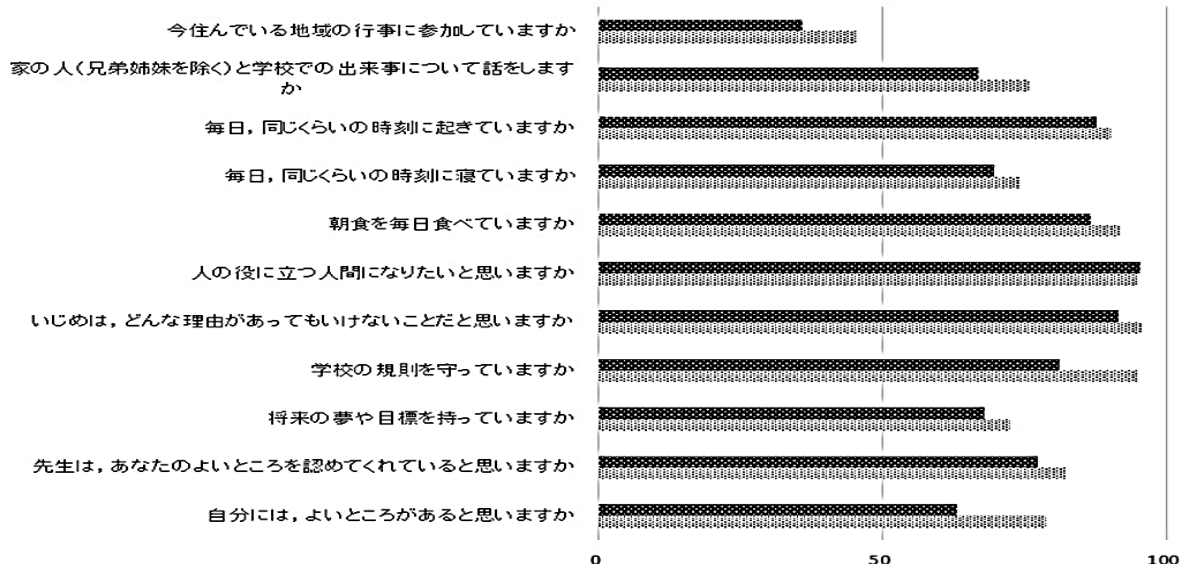
次のグラフは生徒質問紙調査の項目について、肯定的意見（「当てはまる」・「どちらかといえば当てはまる」の合計）を全国と比較したもののうち、特徴的なものをまとめたものです。



<自己について>

自己について

■ 本校 ※ 全国



- 自己に関わる質問において全国と比較した場合、多くの項目で肯定的意見の割合が下回っています。
- 「人に役に立つ人間になりたいと思うか」という項目では、全国に比して肯定的意見が上回っています。
- しかしながら、「自分にはよいところがあると思うか」や「学校の規則を守っているか」という項目については、全国に比して肯定的意見が低く、自己肯定感や規範意識に課題があることが伺えます。

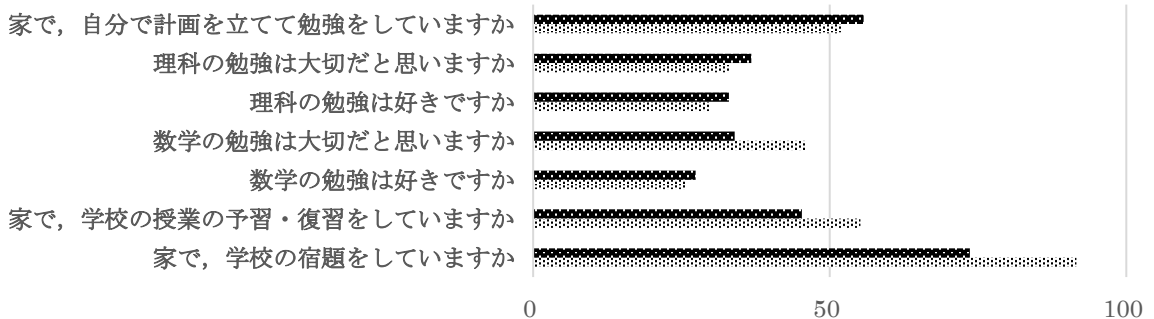


pixta.jp - 12285105

<学習について>

学習について

■ 本校 ■ 全国



- 「家で、自分で計画を立てて勉強している」や「数学の勉強が好きである」「理科の勉強が好きである」という項目は全国に比べ高く、良好な状況であることが伺えます。
- しかしながら、「家で学校の宿題をする」や「家で学校の授業の予習・復習をする」などの項目が低く、家庭学習の習慣や学んだことを繰り返し学習する取り組みの充実が、大きな課題であると言えます。

